

庄川の上流に産業廃棄物処理施設(管理型最終処分場)の建設計画があります

富山県西部を流域とする一級河川「庄川」の清らかな水は、富山県西部に住む多くの人々の、**飲み水**や**生活用水**、**農業用水**として利用している、かけがえのない資源です。

この大切な水を、子どもたちの未来のためにも、みんなで守っていきましょう



暮らしを支える庄川の水

庄川は岐阜県高山市(旧庄川村)に源流をもつ全長 115km の河川で、富山県西部を流れ、日本海に注いでいます。地域の暮らしや産業に深く関わっている河川です。

関心を持ち、声を上げることが、未来への選択につながります

今、一人一人ができること、知ること、考えること、伝えること



健康被害は？

安全？安心？

どうして
この場所に建設するの？災害！そのときは
どうなるの？

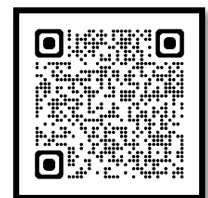
詳しい情報は、

庄川流域^{むまや}六厩産廃処分場計画対策協議会のホームページをご覧ください。

公式 HP はこちら

<http://shougawaryuiki.s322.xrea.com/>

庄川流域 産廃

発行元：庄川流域^{むまや}六厩産廃処分場計画対策協議会

連絡先：富山県砺波市一番町 108 番地

TEL 0763-32-2351

※裏面もお読みください！

産業廃棄物最終処分場建設計画の概要

計 画 場 所： 岐阜県高山市荘川町六厩（むまや）地内
埋立て面積： 106,256㎡（※サッカーコート約15面分）
埋立て総量： 2,434,073㎡（※東京ドーム約2杯分！）
埋立て品目： 以下18品目



【1.産業廃棄物】

燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず、鋳さい、がれき類、ばいじん、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、動物系固形不要物、動物のふん尿、動物の死体、政令第2条第13号廃棄物

※上記品目は、自動車等破碎物、石綿含有産業廃棄物であるもの、水銀使用製品産業廃棄物であるもの及び水銀含有ばいじん等であるものを含む。

【2.特別管理産業廃棄物】

廃石綿等

埋立て期間： 26年間（予定）

産業廃棄物最終処分場建設計画の問題点

〈富山県西部の重要な水道水源であり農業用水にも利用している“庄川”への影響〉

産業廃棄物最終処分場の建設予定地は、庄川の支流である六厩川に隣接し、富山湾まで流れる庄川水系の最上流部に位置しています。

庄川の水は、砺波市・南砺市・高岡市・射水市そして小矢部市の富山県西部、約35万人の大切な飲料水として利用されています。

また、農業用水や漁業など、地域の暮らしと産業も庄川の水に支えられています。有害物質が河川に流出すれば、その影響は広範囲に及ぶおそれがあります。

〈建設計画の安全性に関する5つの懸念〉

※高山市議会から岐阜県知事へ提出された「産業廃棄物最終処分場の設置に反対する意見書」より一部抜粋

1. 計画地は震度6強が想定される地域
2. 近年の気象変化に伴う、線状降水帯やゲリラ豪雨発生による災害時の安全性に不安
3. 盛土を行うにあたり、寒冷地特有の凍上・融解・積雪等の影響の検討が不十分
4. 計画地は土砂災害警戒区域指定予定地であり、高盛土による崩落の危険性が高い
5. 付近に活断層が多数存在しているため、地盤のずれや崩れに伴い、未処理水が流出するおそれがあり、水質保全等への不安が高まっている

こうしたことから、この地域は最終処分場の建設地として適切な場所ではありません。

〈風評被害の可能性〉

建設そのものが、風評被害を引き起こす可能性があります。
庄川流域の自然、景観、地域ブランドを活かした農水産物をはじめ、観光・産業にも重大な影響を及ぼすことが懸念されます。



この建設計画は現在も進行しており、地域住民をはじめ、各方面から反対の声が上がっています。

この問題は「今」だけではありません。

未来を生きる子どもたちの世代にも関わる、重要な課題です。

地域の皆様には、ご関心をお寄せいただき、富山県西部の声を岐阜県へ届ける活動にご理解とご協力をお願いいたします。